

【同時発表】：国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会

令和 7 年 10 月 31 日
港湾局 海岸・防災課
水管理・国土保全局 防災課

はまぐちごりょう
2025 年 濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）受賞者が決まりました
～日本、イタリアの 2 名が受賞～

津波・高潮等に対する防災・減災に関して顕著な功績を挙げた国内外の個人や団体を表彰する「濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）」の 2025 年の受賞者が決まりました。
授賞式及び記念講演会が 11 月 11 日に開催されます。

濱口梧陵国際賞は、東日本大震災を教訓として平成 23 年（2011 年）に定められた津波防災の日である 11 月 5 日が、2015 年の国連総会で「世界津波の日」として制定されたことを契機として、沿岸防災技術の国内外での啓発や普及促進を図るため、国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会によって 2016 年に創設された国際的な賞です。

このたび、2025 年の受賞者が下記の 2 名に決まり、授賞式及び記念講演会が下記のとおり開催されますのでお知らせします。

【濱口梧陵とは？】

19 世紀に現在の和歌山県広川町で生まれた実業家・社会事業家・政治家。安政元年（1854 年）に大地震・大津波が発生した際、稲むら（稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、それを目印に村人を安全な場所に避難させた。その後も、私財を投じて防波堤を築造する等の復興事業にも尽力。同氏の死後、1946 年に広川町は再び地震・津波に襲われたが、防波堤のおかげで被害が最小限に抑えられた。



稲むらの火
（資料提供：内閣府）

記

1. 日 時：令和 7 年 11 月 11 日（火）

1）授賞式 16 時 00 分～

2）記念講演会 17 時 00 分～

〔補足〕授賞式では、本年 4 月 25 日より募集を開始した「2025 年濱口梧陵国際作文コンテスト」の入賞作品も発表されます。

2. 場 所：海運クラブ（東京都千代田区平河町 2 丁目 6-4 海運ビル）

3. 受賞者：以下の 2 名

- 三村 信男 博士 茨城大学名誉教授
- Stefano Tinti（ステファノ・ティンティ）博士 イタリア・ボローニャ大学母校招聘教授（イタリア）

4. 取材対応：（別紙 3 参照）

<添付資料>

- ・2025 年濱口梧陵国際賞について（別紙 1）、受賞者の概要（別紙 2）、取材申込用紙（別紙 3）

〔補足〕本件は、主催者である国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会からも発表されています。

<https://www.pari.go.jp/event/hamaguchi-award/>

【問い合わせ先】

港湾局 海岸・防災課 川原（46752）、斉藤（46763）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8689（直通）
水管理・国土保全局 防災課 渡辺（35722）、福田（35836）
電話：03-5253-8111（代）、03-5253-8438（直通）